

## 耐震診断結果(平成22年3月現在)

耐震化の対象となる建物は、非木造の校舎等で2階以上又は延床面積が200㎡以上の小・中学校、幼稚園の校舎等です。診断結果には、今後、耐震化対策が必要な建物全棟の耐震診断結果を掲載し、既に耐震性能が確保されている下記の建物は掲載していません。

・昭和57年以降の新耐震基準で設計された建物

学校名	建物区分	建築年	面積	階数	構造 <sub>1</sub>	診断年度	診断結果	
							Is値 <sub>2</sub>	備考
久遠小学校	校舎	S46～47	2,512㎡	2階	RC	H20～21	0.535	NG(要補強・改修)
	体育館	S47	660㎡	1階	S	H20～21	0.07	NG(要建替)
玉川小学校	校舎	S53	1,622㎡	2階	RC	H20～21	0.904	OK(耐震性有り)
	体育館	S41	378㎡	1階	S	H20～21	0.25	NG(要補強・改修)
北檜山幼稚園	園舎	S47	402㎡	1階	S	H20～21	0.798	OK(耐震性有り)
								(体育館は保有なし)

平田内小学校	校舎	S54	873㎡	2階	RC	H21	1.143	OK(耐震性有り)
	体育館	S55	564㎡	1階	S	H21	0.386	NG(要補強・改修)
長磯小学校	校舎	S56	927㎡	2階	RC	H21	0.82	OK(耐震性有り)
	体育館	S57	564㎡	1階	S			新耐震基準
大成中学校	校舎	S51～52	3,187㎡	2階	RC	H21	0.946	OK(耐震性有り)
	体育館	S53	860㎡	1階	S	H21	0.27	NG(要補強・改修)
瀬棚中学校	校舎	S53	3,207㎡	3階	RC	H21	0.243	NG(要補強・改修)
	体育館	S54	1,205㎡	1階	S	H21	0.13	NG(要補強・改修)

久遠小学校校舎・体育館、玉川小学校体育館、平田内小学校体育館、大成中学校体育館、瀬棚中学校校舎・体育館についてはNG(要補強・改修)となっているため、今後改修並びに移転等について検討して参ります。

## 耐震診断結果の見方

1 構造区分 RC:鉄筋コンクリート造、S:鉄骨造

2 Is値

診断の結果、建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出される構造耐震指標で、その最小値を表記しています。なお、文部科学省では、補強後のIs値は、おおむね0.7を超えることとしています。また、大規模な地震とは、震度6強から震度7程度の地震を想定しています。

Is値0.3未満 大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性が高い

Is値0.3以上0.6未満 大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性がある

Is値0.7以上 大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性が低い